



〒663 西宮市池開町6-46
武庫川女子大学言語文化研究所
Tel 0798(45)3536 (直通)

いまどきの 女らしさ

「もう少し女らしくなさい」「泣くなんて男らしくない」。こんなことを、言われたり、聞いたりしたことはありませんか？

何気なく使われている「らしさ」ですが、その意味するものは、一体何なのでしょう。か。「らしさ」——この得体の知れないもの。

今回は「女らしさ」をテーマに取り上げました。女子大生たちが「女らしさ」にどのようなイメージを持っているのか、その意識を探るためにアンケート調査を行いました。

アンケートの形式は〔例〕の通りです。下の枠内に示す、対立する意味を持つ20組のことばについて、「女らしさ」から受けるイメージが、5段階のどの程度にあたるかを判定して、○をつけてもらいました。

〔例〕 1 2 3 4 5
 明るい ——— ⊕ ——— | ——— | ——— | 暗い

明るい—暗い	従属—独立	丸い—四角い	憎らしい—かわいい
冷たい—暖かい	保守的—進歩的	細い—太い	几帳面—大ざっぱ
柔らかい—堅い	内向的—外向的	小さい—大きい	けなげ—ずるい
強い—弱い	活動的—受動的	粗い—細かい	うるさい—おとなしい
醜い—美しい	繊細—がさつ	良い—悪い	上品—下品

また、そのほかに「女らしいと感じるのはどんな人か」という質問には、具体的に記述してもらい、「女らしくありたいか」「他人から女らしいと言われるとうれしいか」の2点については、YES/NOの形式で、回答してもらいました。

調査対象者は武庫川女子大学の学生で、470人から回答を得ました。以下に、その集計の結果を報告します。

● マイナスイメージの弱さ——「女らしさ」とは耐え忍ぶことにあらず？

まず、女らしさに対するイメージの強いものと弱いものを求めよう。項目ごとに回答の平均値を出し、「3」を基準としてその差を出した。もっとも差が開くと「2」の値が出てくることになる。「2」に近いほどイメージが強く、「0」に近いほど弱いことばになる。それぞれの上位5語は、次の通りであった。

イメージの強いもの			イメージの弱いもの		
1. 上品	1.36		1. 弱い	0.12	
2. 繊細	1.25		2. 従属	0.32	
3. 柔らかい	1.19		2. 内向的	0.32	
4. 細かい	1.17		4. 受動的	0.43	
5. 丸い	1.14		5. 明るい	0.44	

イメージの強いものには、「上品」「繊細」「柔らかい」などプラスイメージのことばが並び、逆に、弱いほうには、「弱い」「従属」「内向的」「受動的」などマイナスイメージのことばが並んでいる。

この結果の解釈は2通りが可能であろう。一つは、女らしさに対する認識が旧態依然たるもので、変化していないというものである。女らしさをすばらしいものと信じている人にとって、そのプラスイメージは存在しても、マイナスイメージは意識にのぼってこないと考えられるからである。

そして、もう一つの解釈は、新しい女らしさのイメージを構築しているというものである。女性解放が問題にされて以来、女らしさについて、その内実は‘男に従属し、自己主張をしない、ひっそりとした受け身の女性’的なものであることが指摘されてきた。それを知った上で、旧来の女らしさにまつわりつくイメージのうち、マイナスイメージを捨てて、プラスイメージを中心とする新しい女らしさを意識しはじめたと考えるものである。

どちらが正しいのかは断定しがたいが、いずれにせよ、女らしさをプラスイメージとしてとらえていることは間違いなさそうである。

● 「女らしさ」への願望——「女らしさ」に積極的

それでは、自分自身の「女らしさ」について、どのように考えているだろうか。

①「女らしくありたいか」②「他人から女らしいと言われるとうれしいか」の2点について、YES/NOの形式で回答を求め、次表の結果を得た。

	(人)	(%)	
①②ともYES	287	61	女らしくあることを望み、女らしいと言われることに喜びを感じている者が6割以上である。女子大生たちは、女らしさを求め、女らしくあることに積極的である。反対に女らしさを否定している者は、2割もいない。女子大生たちの女らしさへの願望は強い。
①②ともNO	87	18	
その他	98	21	

●肯定派と否定派——「いまどき」と「昔ながら」

次に、先の質問で‘①②ともYES’と回答した者を肯定派、‘①②ともNO’と回答した者を否定派として、それぞれがもつイメージの違いを見てみよう。20組の中から、両者の数値の差が大きいものの、上位8語を示す。

イメージ	肯定派	否定派	差
1. 良い	<u>0.89</u>	0.14	0.75
2. 美しい	<u>1.17</u>	0.58	0.59
3. かわいい	<u>1.00</u>	0.44	0.56
4. 明るい	<u>0.58</u>	0.05	0.53
5. 受動的	0.29	<u>0.81</u>	0.52
6. 保守的	0.44	<u>0.90</u>	0.46
7. 内向的	0.20	<u>0.65</u>	0.45
8. 従属	0.23	<u>0.63</u>	0.40

これらから、次の点が注目される。

a 否定派は、肯定派ほど女らしさに対して「良さ」も「美しさ」も感じていないし、「かわいい」とも「明るい」とも思っていない。

b 否定派は、肯定派より女らしさを「受動的」「保守的」「内向的」で、「従属」のイメージとしてとらえている。

c 両者ともに、対立するイメージの同じほうを選択している。

a、bから、両者の女らしさに対する認識の違いを知ることができる。

つまり、肯定派は、「良い」「美しい」のように‘プラスイメージのもの’としてとらえがちであり、反対に、否定派は、‘マイナスイメージの耐え忍ぶ女’を連想しがちなのである。イメージするものが‘いまどきの女らしさ’なのか‘昔ながらの女らしさ’なのかが、両者を分けるボーダーラインといえそうだ。

とはいっても、cから、両者のイメージが、必ずしも対極に位置しているのではないことがわかる。例えば、「良い—悪い」の場合、肯定派が「良い」ほうの値をとっているのに対して、否定派が「悪い」ほうの値をとっているわけではない。やはり、「良い」ほうの値をとっていて、ただ、肯定派との差が大きいというだけである。

さらに、上表に掲げた対立だけでなく、20組すべてについて同じほうの語が選ばれていたのである。肯定派でも、女らしさに、多少「受動的」なイメージを持ち、否定派であっても、女らしさを「悪い」とは言い切れないのである。

両者の差は、イメージが強いか弱いかの程度差でしかない。

●わたしの「女らしさ」——「女らしさ」はハートと見た目

さて、女子大生たちは、女らしさをプラスイメージとしてとらえていた。

では具体的に、どのような女性を女らしいと考えているのだろうか。自由記述の中から、代表的なものを次にいくつか掲げてみる。

【感情重視派】(167人 複数回答を含む)

気がきく、気がつく、気配りができる、心遣いができる 優しい 等

【外見重視派】(78人 複数回答を含む)

美しい、かわいい、色白、きゃしゃ、細い、髪が長い、笑顔がステキ 等

これらから、女らしさの要素として、「感情」が非常に重要な位置を占めていることが分かる。また、外見的な美しさも、大事なポイントの一つのようだ。

なお、これらに続いて「家事が上手 (27)」があった。

反対に、女らしさをマイナスイメージでとらえている具体例は、次の通りである。

男性に媚を売る、自主性がない、嫉妬深い、ずるがしこい、封建的 等

「自主性がない、封建的」といった、旧来の女らしさのイメージのほか、「男性に媚を売る、ずるがしこい」といった、やや現代的な視点のものもある。と同時に、「男性に媚を売る、嫉妬深い」のように男性を意識する回答があった点で、プラスイメージの場合と違っていることが注目される。

ただし、これらマイナスイメージの意見は、全体の470名中12名と非常に少ない。その12名中10名は、否定派であり、女らしさを完全に否定している。

しかし、否定派87名中、残りの77名は、具体的な女らしさに良いイメージを持っている。これらの者は、自分自身の女らしさには拒否反応を示しつつ、他人の女らしさは認めているようである。

●いまだきの「女らしさ」——女子大生とフェミニズム

女子大生たちの多くは、女らしさのイメージを見る限り、女らしさに反発をしていないし、従来言われていることから想像されるようなマイナスイメージも持っていない。それどころか女らしさを良しとし、目指し、憧れていると推測できる。

‘いまだきの女子大生たち’が考える‘いまだきの女らしさ’は、果たして昔ながらの女らしさを乗り越えた結果なのか、あるいは、旧来の女らしさに対する問題意識の希薄さゆえの結果なのであろうか。フェミニズムの立場では、この結果をどのように解釈しどのように対応すべきなのだろうか。

あとがき

1995. Oct.

阪神・淡路大震災の影響で、予定より少し遅れながらも、『LCりぽーと』第3号を発行することができました。

アンケートに協力してくれた学生の皆さん、ありがとうございました。

担当 言語文化研究所 佐竹秀雄・岸本千秋